



県立都城泉ヶ丘高校附属中学校3年生のみなさんが 議会傍聴に来てくれました

12月11日（月）の一般質問を傍聴した感想を一部紹介します。



議会を傍聴して感じたのは、
議会は「小さな国会」ということです。規模は国会より小さいですが、同じような構成になっていて興味深かったです。地方自治体が「民主主義の学校」と言われる理由が分かったように思います。



議会での討論を見たのは初めてで、貴重な経験になりました。コロナの支援については、ニュース等で知ることはあったけれど、具体的な数値を用いたり、問題点を示したりして、政策を実践する過程を見ることができておもしろかったです。

議会では「ふるさと納税」「人口減少」など、都城でよく耳にするワードについて話し合われていることを実感しました。今までテレビ等でしかみてなかった議会の傍聴でき、とても良い体験ができました。

僕は、市議会を傍聴して、婚活の話が記憶に残りました。婚活に関することを市が行っているということを知らなかったのが、驚きました。

テレビでよくみる光景が目に入り、どんな話し合いをするのか、わくわくしました。細かいところまで話し合っているのが大変だなと思いました。これからも体調に気を付けて頑張ってください。

議員の方が資料を基に、難しい質問をされていて、とても集中力のいる仕事だと感じました。議員の方々の手元にはタブレットがあって、デジタル化という議会の取り組みに感心しました。

会議の内容が細かいところまでデータを取り、それを基に進められていて、会議の慎重さが伝わってきてとても感動しました。また、会議室の席も工夫がたくさんみられて、とてもおもしろかったです。



市議会では、都城市が推進している事業の内容を詳しく聞くことができ、課題の現状と解決策を知ることができました。より良い都城にするための話し合いが行われていることを実感しました。各部署が連携することで都城市を盛り上げてください!! 僕たちも応援します。



普段は経験することのできない貴重な時間になりました。議会では、市の現状を細かい数値で示し、慎重に審議が行われていると感じました。内容も自分たちにとって身近なものが多くとても勉強になりました。

初めて市議会の傍聴をして、この場から僕たちの住む都城の様々なことが決まり、ここから進んでいくと感じとても感動しました。激しく言い合っている感じかと思っていましたが、意外と淡々と進んでいて、イメージとの誤差を正すことができ、よかったです。

私は初めて市議会の討論の様子を見ました。説得力のある討論でとても感動しました。緊迫した雰囲気、現在そして今後の都城について話し合われているのだと思うと、議員さんたちに感謝の気持ちでいっぱいです。



市議会傍聴は初めての体験で、話し合いの進め方や都城にどのような課題があるかなど、いろいろなことを知ることができました。